

2025年6月18日

第516回理事会

発電設備等系統アクセス業務に係る情報公表の実施について（2024年度分）

業務規程第181条の規定に基づき、2024年度報告書（発電設備等系統アクセス業務に係る実績）を別紙のとおり取りまとめ、公表を実施する。

1. 公表日

2025年6月20日

2. 公表内容

別紙のとおり

3. 公表方法

本機関ウェブサイトに掲載

以上

【添付資料】

別紙：公表文書「発電設備等系統アクセス業務に係る情報の取りまとめ（2024年度受付・回答分）」

(案)

発電設備等系統アクセス業務に係る情報の取りまとめ  
(2024年度の受付・回答分)

2025年6月



電力広域的運営推進機関

Organization for Cross-regional Coordination of  
Transmission Operators, JAPAN

## - はじめに -

電力広域的運営推進機関（以下、広域機関という。）は、業務規程第181条の規定に基づき、系統アクセス業務に関する前年度までの実績について公表している。

今回、2024年度（2024年4月～2025年3月）の系統アクセス業務に関する実績（受付及び回答状況）を取りまとめたので、公表する。

本資料は2024年度の受付及び回答状況の取りまとめであることから、引用する業務規程及び送配電等業務指針（以下、規定等という。）の条文は、同年度末日時点で適用される規定等を用いる記載としている。また、本資料が用いる電気事業者の類型は、同年度末日時点で施行されている電気事業法（昭和三十九年七月十一日法律第七十号）に規定される定義を用いる記載としている。

- 目次 -

1. 対象電源	3
2. 集計結果	4
2.1 事前相談	4
2.1.1 受付件数	4
2.2 接続検討	5
2.2.1 受付件数	5
2.2.2 電源種別毎の受付件数	6
2.2.3 回答件数	7
2.2.4 検討期間	8
2.2.5 未回答案件（検討継続中案件）の状況	10
2.3 契約申込み	11
2.3.1 受付件数	11
2.3.2 電源種別毎の受付件数	12
2.3.3 回答件数	13
2.3.4 検討期間	14
2.3.5 未回答案件（検討継続中案件）の状況	16
<参考1>年度推移	17
(1) 事前相談	18
(2) 接続検討	18
(3) 契約申込み	19
<参考2>電源接続案件一括検討プロセス実施状況	20

## 1. 対象電源

2015年4月1日以降に広域機関及び一般送配電事業者において系統アクセス業務に係る受付または回答を行った最大受電電力500キロワット以上の発電設備等の案件を対象とする。なお、発電容量の増加を伴わない改修等も含む。

また、本資料において、各事業者名称は下記の略称で記載する。

事業者名称	本資料における略称
北海道電力ネットワーク株式会社	北海道NW
東北電力ネットワーク株式会社	東北NW
東京電力パワーグリッド株式会社	東京PG
中部電力パワーグリッド株式会社	中部PG
北陸電力送配電株式会社	北陸送配
関西電力送配電株式会社	関西送配
中国電力ネットワーク株式会社	中国NW
四国電力送配電株式会社	四国送配
九州電力送配電株式会社	九州送配
沖縄電力株式会社	沖縄電力

## 2. 集約結果

### 2.1. 事前相談

#### 2.1.1. 受付件数

2024年度（2024年4月～2025年3月）に受付を行った事前相談の件数は以下のとおり。事前相談の受付件数は、前年度と比較して増加しており、東京PG、中国NW、九州送配で特に増加。

表1 事前相談の受付件数（広域機関および一般送配電事業者別）※2 (件)

受付会社	前年度（2023年度）			当年度（2024年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	112	0	112	35	0	35	▲ 77
北海道NW	797	1,117	1,914	996	2,805	3,801	1,887
東北NW	1,207	3,486	4,693	1,553	5,894	7,447	2,754
東京PG	1,812	5,020	6,832	3,569	13,296	16,865	10,033
中部PG	604	2,346	2,950	884	4,735	5,619	2,669
北陸送配	133	365	498	134	468	602	104
関西送配	865	1,835	2,700	778	3,882	4,660	1,960
中国NW	411	1,074	1,485	844	3,996	4,840	3,355
四国送配	135	758	893	222	1,124	1,346	453
九州送配	1,447	2,275	3,722	1,658	9,120	10,778	7,056
沖縄電力	17	13	30	8	17	25	▲ 5
合計	7,540	18,289	25,829	10,681	45,337	56,018	30,189

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上の申込みを受け付ける。なお、2024年8月1日から、広域機関が行う系統アクセス業務を一部見直し、事前相談は、一般送配電事業者への申込みに変更している。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なる容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

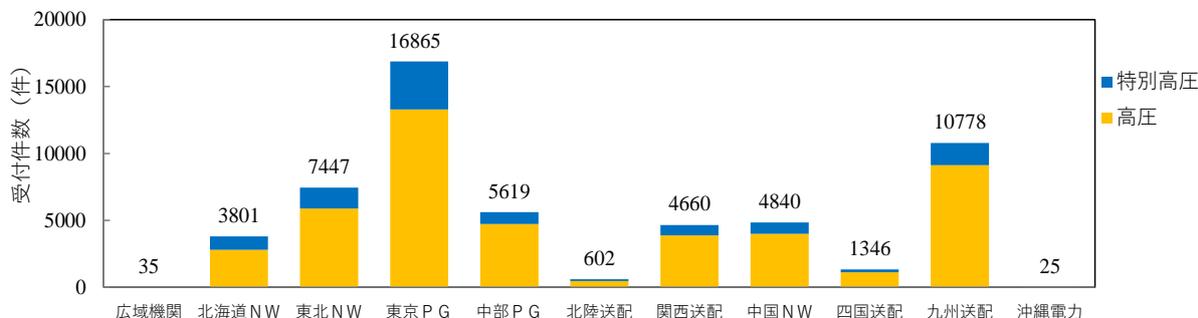


図1 事前相談 受付件数 (広域機関および一般送配電事業者別) [2024年度]

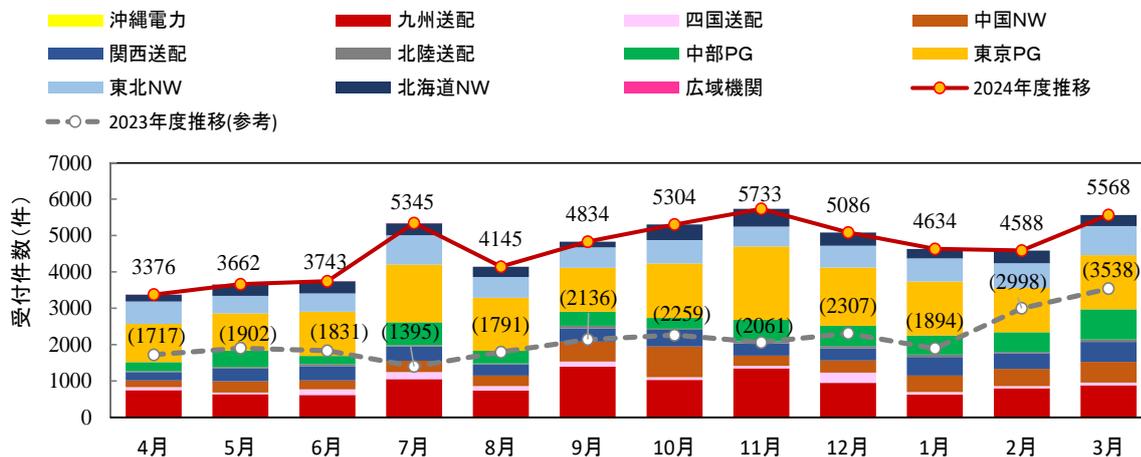


図2 事前相談 受付件数 (広域機関+一般送配電事業者合計) [2024年度]

## 2.2. 接続検討

### 2.2.1. 受付件数

2024年度（2024年4月～2025年3月）に受付を行った接続検討の件数は以下のとおり。接続検討の受付件数は、前年度と比較して大半のエリアで増加し、東北NW、東京PG、中部PG、九州送配で特に増加。

表2 接続検討の受付件数（広域機関および一般送配電事業者別）※2 (件)

受付会社	前年度（2023年度）			当年度（2024年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	99	0	99	79	1	80	▲ 19
北海道NW	366	380	746	318	589	907	161
東北NW	399	714	1,113	774	2,035	2,809	1,696
東京PG	259	2,444	2,703	461	4,490	4,951	2,248
中部PG	151	577	728	194	1,585	1,779	1,051
北陸送配	51	81	132	68	180	248	116
関西送配	130	210	340	174	657	831	491
中国NW	62	239	301	233	580	813	512
四国送配	23	107	130	62	158	220	90
九州送配	189	239	428	309	1,325	1,634	1,206
沖縄電力	0	5	5	2	2	4	▲ 1
合計	1,729	4,996	6,725	2,674	11,602	14,276	7,551

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上の申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

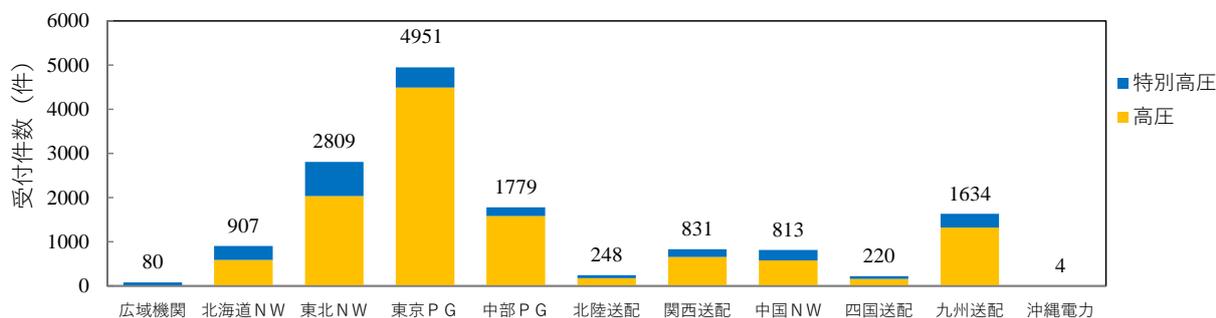


図3 接続検討 受付件数(広域機関および一般送配電事業者別) [2024年度]

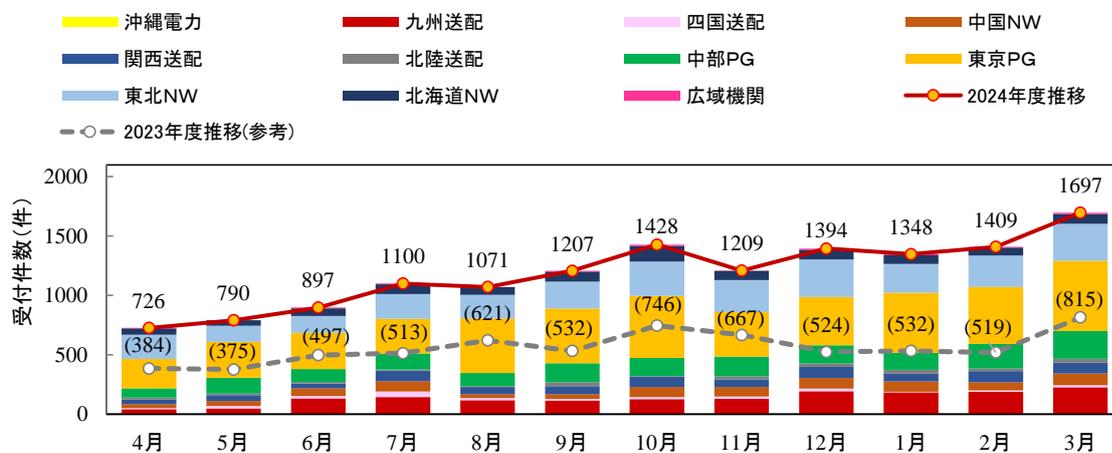


図4 接続検討 受付件数(広域機関+一般送配電事業者合計) [2024年度]

### 2.2.2. 電源種別毎の受付件数

2024年度（2024年4月～2025年3月）に受付を行った接続検討の電源種別毎の件数は以下のとおり。広域機関にて受け付けた案件については、系統連系を希望する各エリアに計上している。また、接続検討1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

電源種別毎の受付件数は、前年度は太陽光の比率が一番大きかったのに対し、今年度は蓄電池の比率が一番大きくなった。

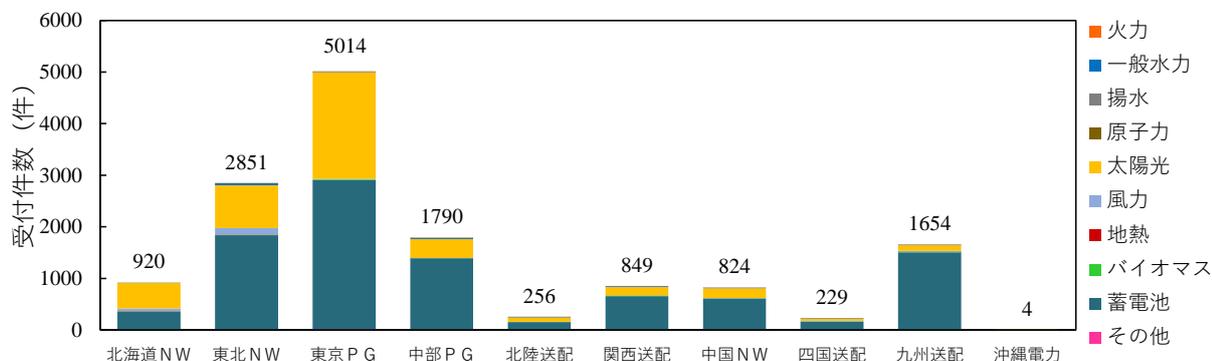


図5 接続検討 電源種別毎の受付件数(エリア別) [2024年度]

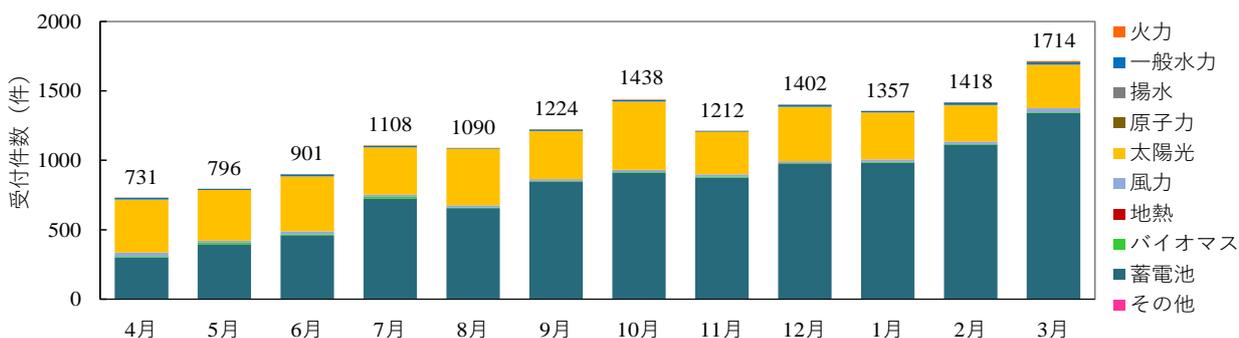


図6 接続検討 電源種別毎の受付件数(全エリア合計) [2024年度]

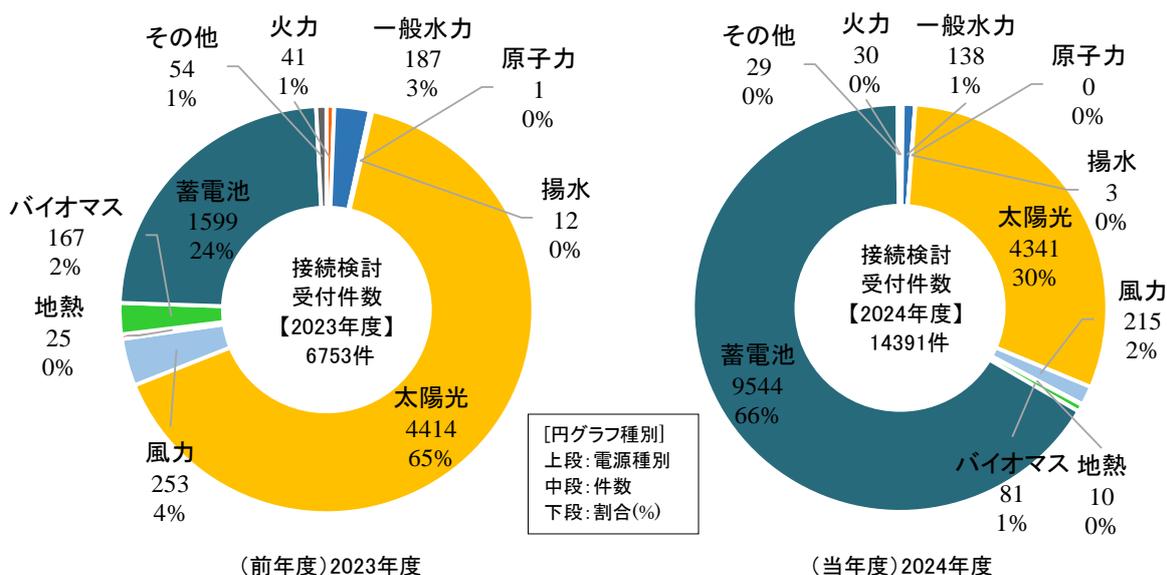


図7 接続検討の電源種別毎の受付件数割合 (全エリア合計)

### 2.2.3. 回答件数

2024年度（2024年4月～2025年3月）に回答を行った接続検討の件数は以下のとおり。接続検討の回答件数は、前年度と比較して増加しており、東北NW、東京PG、中部PG、九州送配で特に増加。

表3 接続検討の回答件数（広域機関および一般送配電事業者別）※2,3 (件)

受付会社	前年度（2023年度）			当年度（2024年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
広域機関※1	104	0	104	62	1	63	▲ 41
北海道NW	287	359	646	380	514	894	248
東北NW	356	622	978	687	1,606	2,293	1,315
東京PG	231	2,229	2,460	375	3,751	4,126	1,666
中部PG	152	589	741	172	1,237	1,409	668
北陸送配	46	77	123	64	137	201	78
関西送配	98	158	256	173	532	705	449
中国NW	68	221	289	210	427	637	348
四国送配	40	113	153	62	155	217	64
九州送配	181	234	415	294	889	1,183	768
沖縄電力	0	3	3	1	3	4	1
合計	1,563	4,605	6,168	2,480	9,252	11,732	5,564

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上の申込みを受け付ける。

※2 同一事業者が同一発電場所において異なった容量の申込みを複数行っている場合もそれぞれ計上している。

※3 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

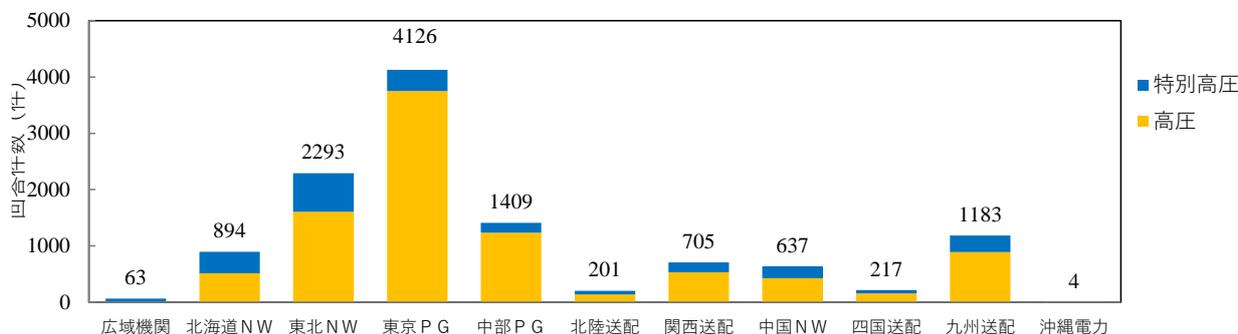


図8 接続検討 回答件数(広域機関および一般送配電事業者別) [2024年度]

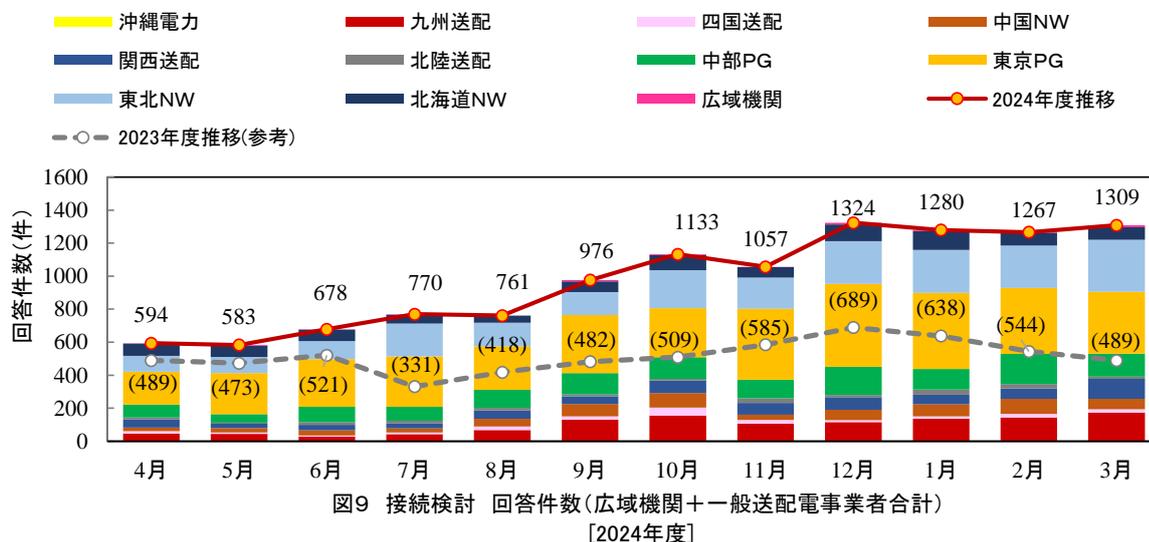


図9 接続検討 回答件数(広域機関+一般送配電事業者合計) [2024年度]

## 2.2.4. 検討期間

2024年度（2024年4月～2025年3月）に回答を行った接続検討の検討期間は以下のとおり。なお、検討期間は、送配電等業務指針第86条の規定を踏まえ、3か月を標準期間として確認した。

接続検討の検討期間（3か月）を超過している件数は、全体の0.3%。超過理由の主な内容は、受付者都合（受付・検討不備）と受付者都合（特殊検討、検討量大）である。

表4 接続検討の検討期間（広域機関および一般送配電事業者別） (件)

受付会社	回答件数	3か月以内	3か月超過	超過理由								
				A	B	C	D	E	F	G	H	I
広域機関※1	63	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北海道NW	894	894	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北NW	2,293	2,293	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京PG	4,126	4,110	16	0	2	0	13	0	1	0	0	0
中部PG	1,409	1,409	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸送配	201	198	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
関西送配	705	686	19	1	1	0	0	17	0	0	0	0
中国NW	637	636	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
四国送配	217	217	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州送配	1,183	1,182	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
沖縄電力	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11,732	11,692	40	4	5	0	13	17	1	0	0	0

※1 広域機関は発電設備等の出力の合計値が1万キロワット以上の申込みを受け付ける。

(接続検討の回答期間)

第86条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、接続検討の回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 系統連系希望者が高圧の送電系統への発電設備等（但し、逆変換装置を使用し、容量が500キロワット未満のものに限る。）の連系等を希望する場合 接続検討の申込みの受付日から2か月
- 二 前号に該当しない場合 接続検討の申込みの受付日から3か月

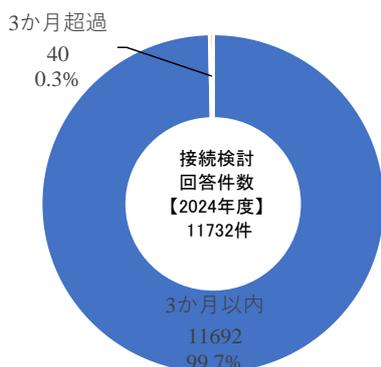


図10 接続検討の回答件数および検討期間実績 (広域機関+一般送配電事業者合計) [2024年度]

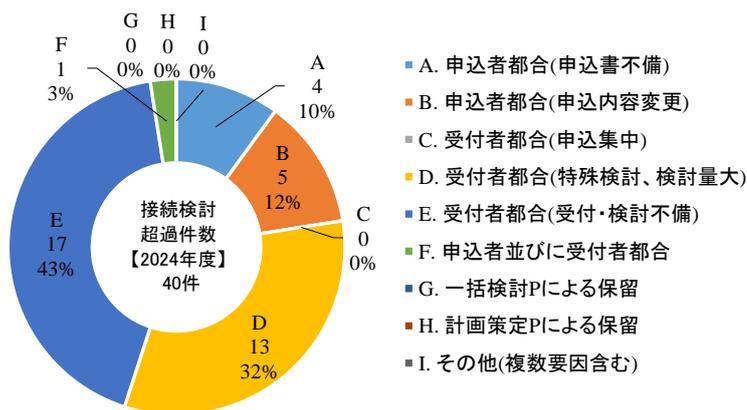


図11 接続検討の標準期間超過理由 (広域機関+一般送配電事業者合計) [2024年度]

[円グラフ種別]  
 上段: 超過理由  
 中段: 件数  
 下段: 割合 (%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

- A. 申込者都合（申込書不備）  
申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合
- B. 申込者都合（申込内容変更）  
申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合
- C. 受付者都合（申込集中）  
同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合
- D. 受付者都合（特殊検討，検討量大）  
特殊検討※<sup>1</sup>が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合
- E. 受付者都合（受付・検討不備）  
一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合
- F. 申込者並びに受付者都合  
上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合
- G. 一括検討Pによる保留  
電源接続案件一括検討プロセス※<sup>2</sup>の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合
- H. 計画策定Pによる保留  
計画策定プロセス※<sup>3</sup>の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合
- I. その他（複数要因含む）  
上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・合理的な設備形成の検討に時間を要しているため  
(事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す)
- ・上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

2.2.5. 未回答案件（検討継続中案件）の状況

2024年度末（2025年3月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。

表5 接続検討の回答予定日超過件数（検討継続中（未回答））

（広域機関および一般送配電事業者の合計）

（件）

受付会社	2023年度末	2024年度末	増減
広域機関※1	0	0	0
北海道NW	14	0	▲ 14
東北NW	1	1	0
東京PG	8	9	1
中部PG	0	0	0
北陸送配	6	0	▲ 6
関西送配	1	2	1
中国NW	1	0	▲ 1
四国送配	0	0	0
九州送配	6	5	▲ 1
沖縄電力	0	0	0
合計	37	17	▲ 20

※1 電源接続案件募集プロセスの募集要綱に基づく接続検討の申込みについては集計外としている。

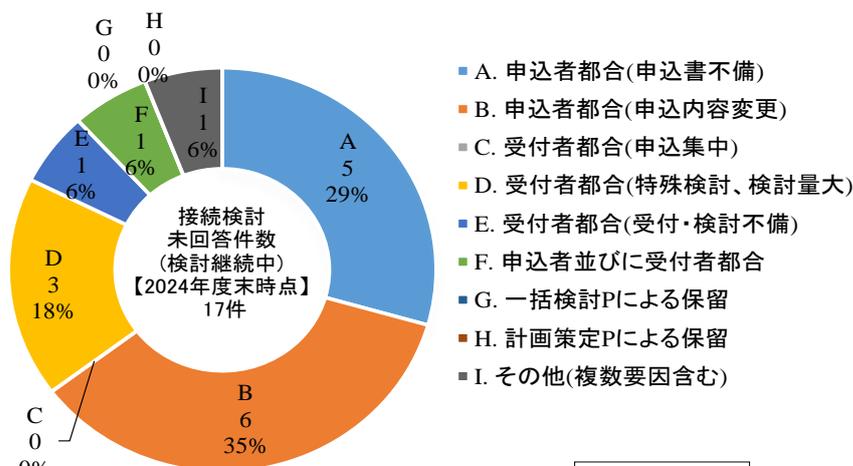


図12 接続検討 未回答(検討継続中)理由  
（広域機関＋一般送配電事業者合計）  
【2024年度末時点】

[円グラフ種別]  
上段: 超過理由  
中段: 件数  
下段: 割合(%)

## 2.3. 契約申込み

### 2.3.1. 受付件数

2024年度（2024年4月～2025年3月）に受付を行った契約申込みの件数は以下のとおり。契約申込みの受付件数は、前年度と比較して増加しており、東京PG、中部PG、関西送配で特に増加。

表6 契約申込みの受付件数（一般送配電事業者別） (件)

受付会社	前年度（2023年度）			当年度（2024年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
北海道NW	25	115	140	59	83	142	2
東北NW	151	184	335	163	312	475	140
東京PG	35	663	698	57	814	871	173
中部PG	29	126	155	50	321	371	216
北陸送配	21	24	45	16	36	52	7
関西送配	55	89	144	107	203	310	166
中国NW	18	92	110	24	167	191	81
四国送配	20	41	61	16	52	68	7
九州送配	23	63	86	31	162	193	107
沖縄電力	1	5	6	4	3	7	1
合計	378	1,402	1,780	527	2,153	2,680	900

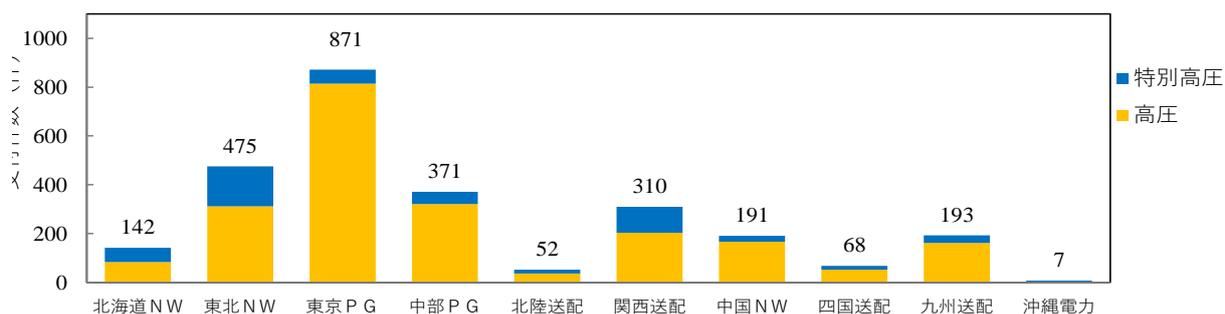


図13 契約申込み 受付件数(一般送配電事業者別) [2024年度]

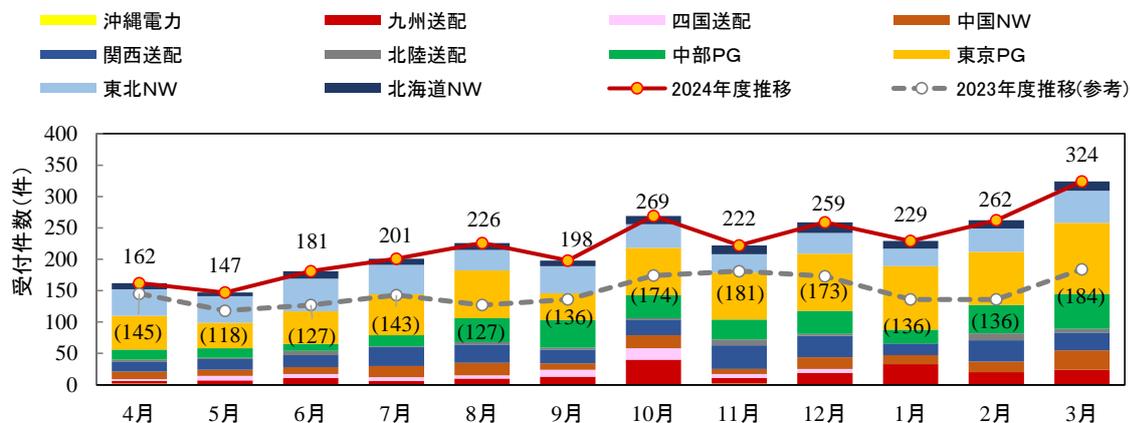


図14 契約申込み 受付件数(一般送配電事業者合計) [2024年度]

### 2.3.2. 電源種別毎の受付件数

2024年度（2024年4月～2025年3月）に受付を行った契約申込みの電源種別毎の件数は以下のとおり。契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

電源種別毎の受付件数は、蓄電池の受付件数が増加し、太陽光に次ぐ比率となっている。

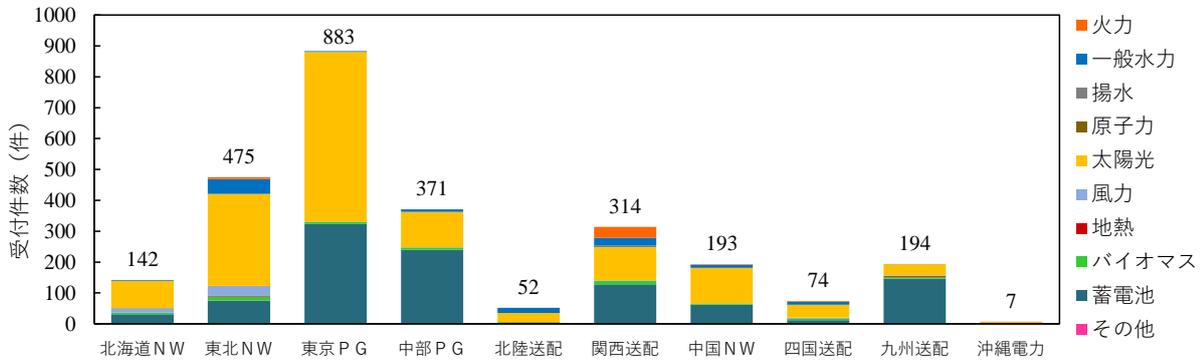


図15 契約申込み 電源種別毎の受付件数(エリア別)  
[2024年度]

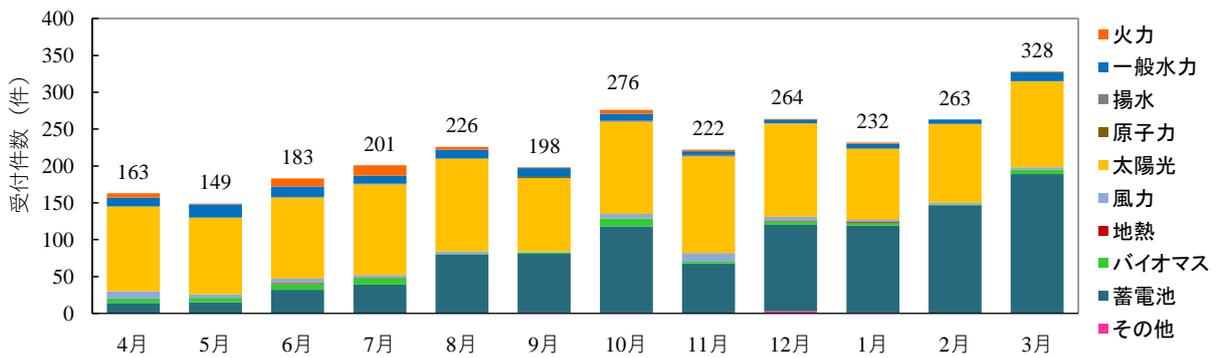


図16 契約申込み 電源種別毎の受付件数(全エリア合計)  
[2024年度]

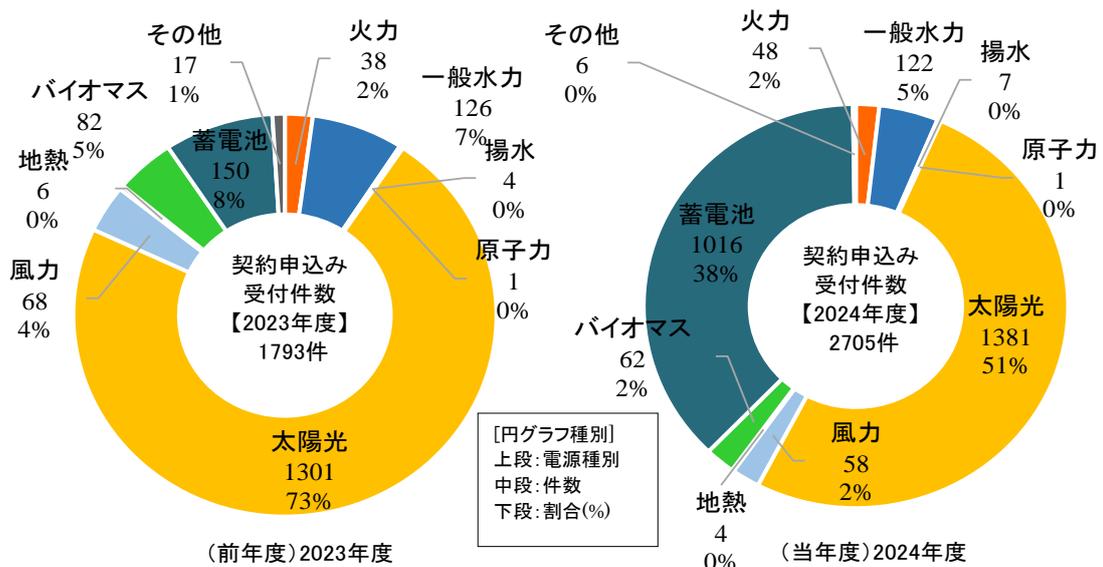


図17 契約申込みの電源種別毎の受付件数割合(全エリア合計)

### 2.3.3. 回答件数

2024年度（2024年4月～2025年3月）に回答を行った契約申込みの件数は以下のとおり。契約申込みの回答件数は、前年度と比較して大半のエリアで増加している。

表7 契約申込みの回答件数（一般送配電事業者別） (件)

受付会社	前年度（2023年度）			当年度（2024年度）			増減
	特別高圧	高圧	合計	特別高圧	高圧	合計	
北海道NW	16	87	103	46	94	140	37
東北NW	151	160	311	148	284	432	121
東京PG	13	418	431	28	464	492	61
中部PG	22	129	151	35	209	244	93
北陸送配	20	21	41	16	21	37	▲ 4
関西送配	44	88	132	93	111	204	72
中国NW	19	85	104	17	130	147	43
四国送配	23	32	55	16	51	67	12
九州送配	19	58	77	21	48	69	▲ 8
沖縄電力	1	5	6	4	3	7	1
合計	328	1,083	1,411	424	1,415	1,839	428

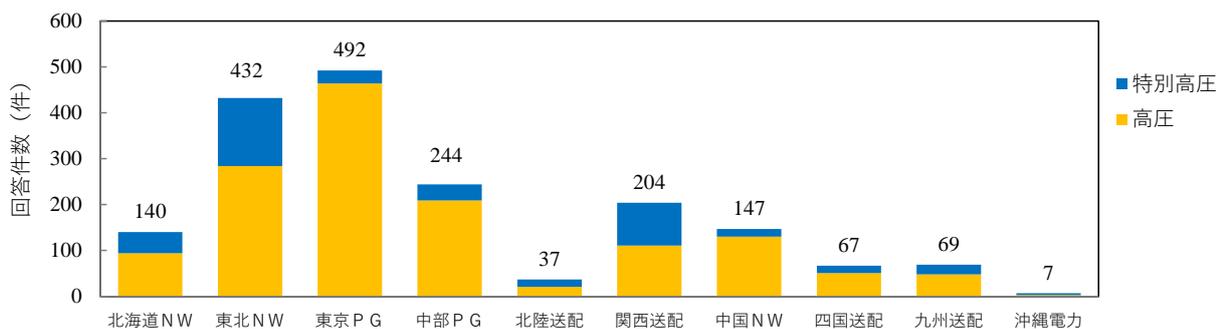


図18 契約申込み 回答件数(一般送配電事業者別) [2024年度]

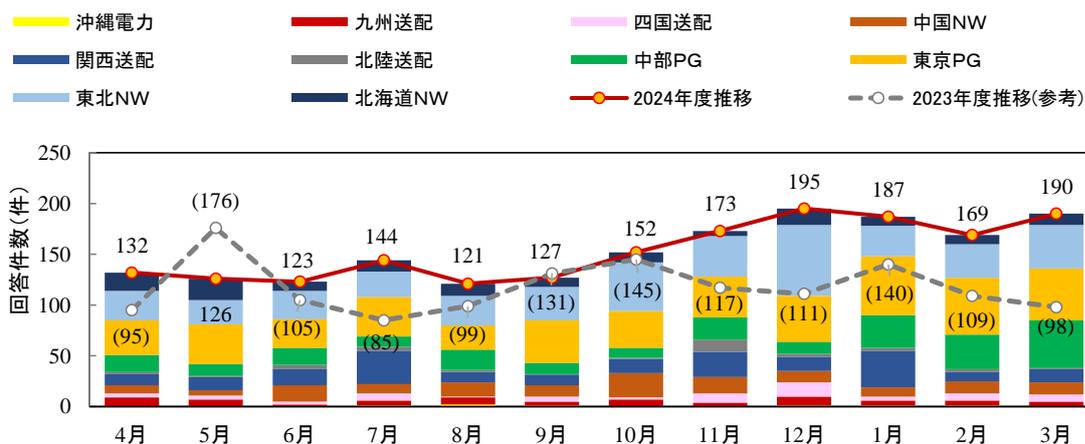


図19 契約申込み 回答件数(一般送配電事業者合計) [2024年度]

### 2.3.4. 検討期間

2024年度（2024年4月～2025年3月）に回答を行った契約申込みの検討期間は以下のとおり。なお、検討期間は、送配電等業務指針第98条の規定を踏まえ、6か月を標準期間として確認した。

契約申込みの検討期間（6か月）を超過している件数は、全体の6%。超過理由の主な内容は、申込者都合（申込書不備）が多い。

表8 契約申込みの検討期間（一般送配電事業者別） (件)

受付会社	回答件数	6か月以内	6か月超過	超過理由								
				A	B	C	D	E	F	G	H	I
北海道NW	140	136	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0
東北NW	432	432	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京PG	492	412	80	77	3	0	0	0	0	0	0	0
中部PG	244	244	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸送配	37	36	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
関西送配	204	198	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0
中国NW	147	146	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
四国送配	67	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州送配	69	58	11	8	1	0	0	2	0	0	0	0
沖縄電力	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,839	1,736	103	90	11	0	0	2	0	0	0	0

（発電設備等に関する契約申込みの回答期間）

第86条 一般送配電事業者は、次の各号の区分に応じ、発電設備等に関する契約申込みの回答を、原則として、次の各号に掲げる期間内に行うものとする。

- 一 系統連系希望者が低圧の送電系統への連系等を希望する場合 発電設備等に関する契約申込みの受付日から1か月
- 二 前号に該当しない場合 契約申込みの受付日から6か月又は系統連系希望者と合意した期間

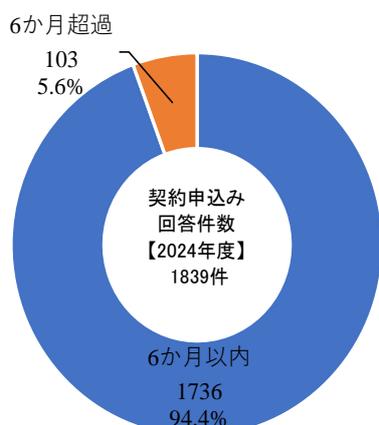


図20 契約申込みの回答件数および検討期間実績  
（一般送配電事業者合計）  
[2024年度]

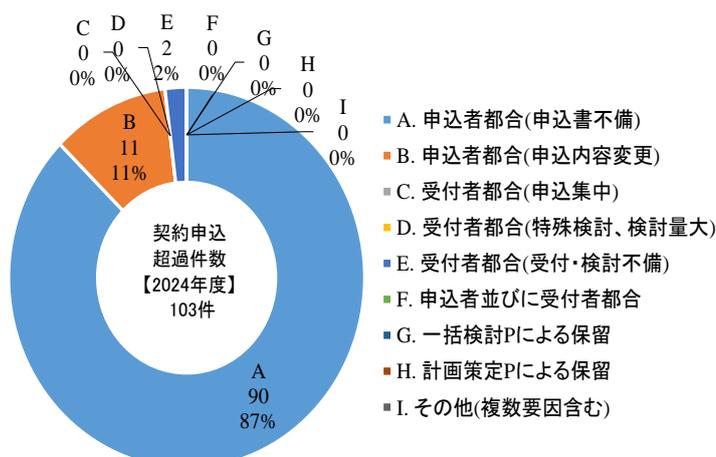


図21 契約申込みの標準期間超過理由  
（一般送配電事業者合計）  
[2024年度]

[円グラフ種別]  
上段: 超過理由  
中段: 件数  
下段: 割合(%)

回答期間超過理由の分類については、以下のとおり。

A. 申込者都合（申込書不備）

申込者の書類不備・不足など申込者に起因する場合

B. 申込者都合（申込内容変更）

申込者による申込後の内容変更など申込者に起因する場合

C. 受付者都合（申込集中）

同一地点や同一時期に申込が集中したなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討が輻輳し、検討に時間を要した場合

D. 受付者都合（特殊検討，検討量大）

特殊検討<sup>※1</sup>が必要となるなどの理由により、当該一般送配電事業者の検討量が多く、検討に時間を要した場合

E. 受付者都合（受付・検討不備）

一般送配電事業者の受付や検討に不備があった場合

F. 申込者並びに受付者都合

上記の申込者都合と受付者都合の両方に起因する場合

G. 一括検討Pによる保留

電源接続案件一括検討プロセス<sup>※2</sup>の募集締切後、系統状況が確定するまで回答保留している場合

H. 計画策定Pによる保留

計画策定プロセス<sup>※3</sup>の開始に伴い系統状況が確定するまで回答保留している場合

I. その他（複数要因含む）

上記以外の理由によるもの

※1 特殊検討例は、以下の通り

- ・合理的な設備形成の検討に時間を要しているため  
（事業者提案にあたり複数案の工事が考えられる場合などにその決定までに時間を要す）
- ・上位系統増強工事が発生することで検討量が増加したため
- ・近隣で既に複数の先行事業者が連系しており、最適な配電線ルート選定に時間を要したため
- ・当該案件とは別の設備増強工事等が絡み、工事内容について多様な検討（精査）が必要となったため
- ・検討途中での大規模電源の連系申込みに伴い、対策内容の再検討が必要となったため

※2 近隣の電源接続の可能性を募り、複数の電気供給事業者により工事費負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのこと

※3 広域系統整備計画の策定において必要となる手続きのこと

2.3.5. 未回答案件（検討継続中案件）の状況

2024年度末（2025年3月末）時点において回答予定日を超過し、かつ検討継続中（未回答）である件数は以下のとおり。なお、申込者による契約申込みの継続意思がない案件については、集計の対象から除外した。

表9 契約申込みの回答予定日超過件数（検討継続中（未回答））

（一般送配電事業者の合計）

（件）

受付会社	2023年度末	2024年度末	増減
北海道NW	6	6	0
東北NW	0	0	0
東京PG	182	292	110
中部PG	0	0	0
北陸送配	2	0	▲ 2
関西送配	0	6	6
中国NW	2	1	▲ 1
四国送配	0	0	0
九州送配	35	35	0
沖縄電力	0	0	0
合計	227	340	113

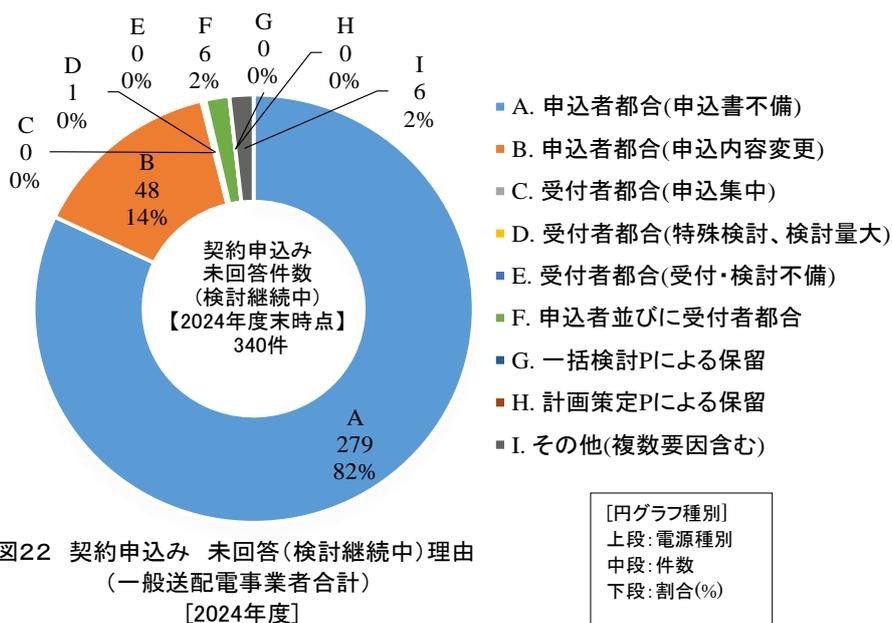


図22 契約申込み 未回答(検討継続中)理由  
(一般送配電事業者合計)  
[2024年度]

## ＜参考 1＞年度推移

広域機関発足（2015年4月）以降における広域機関並びに一般送配電事業者において実施した系統アクセス業務に関する実績（「事前相談」、「接続検討」、「契約申込み」の受付状況）の推移は以下のとおり。

事前相談は2017年度以降、減少していたが、2021年度から増加傾向に変化し、2023年度には2017年度を上回る件数まで増加し、2024年度においては、さらに増加し過去最高の件数となっている。また、接続検討および契約申込みは2020年度から増加傾向に変化し、接続検討・契約申込みともに、2017年度以降では過去最高の件数となっている。

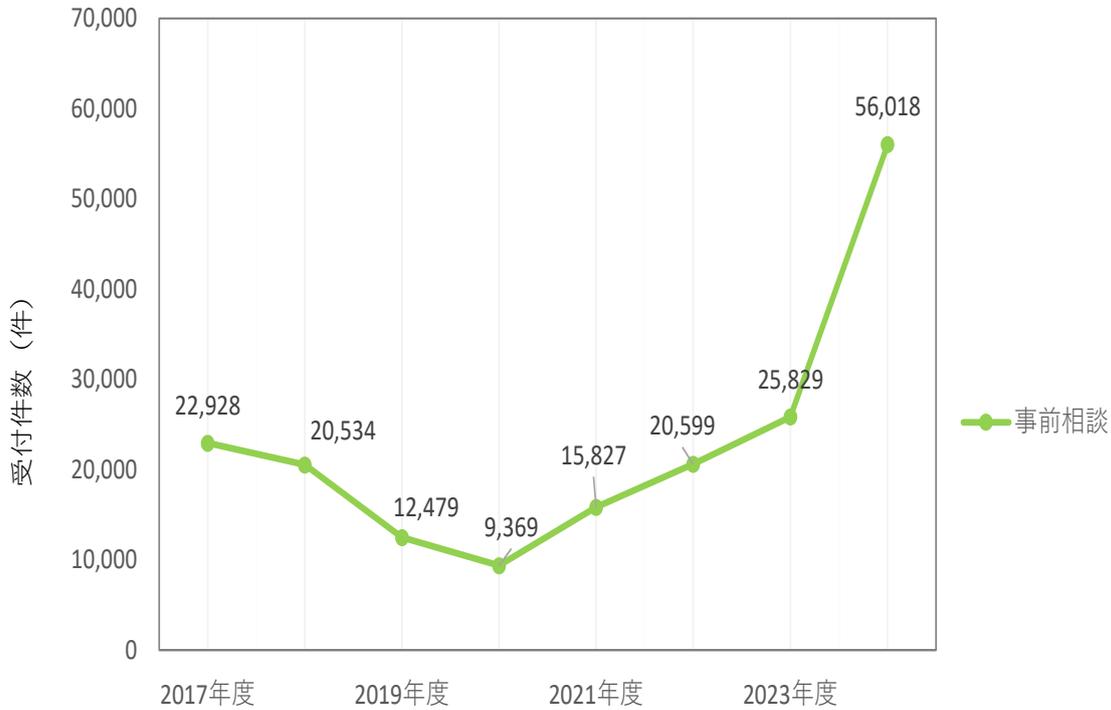


図 2 3 年度別 事前相談の受付件数の推移

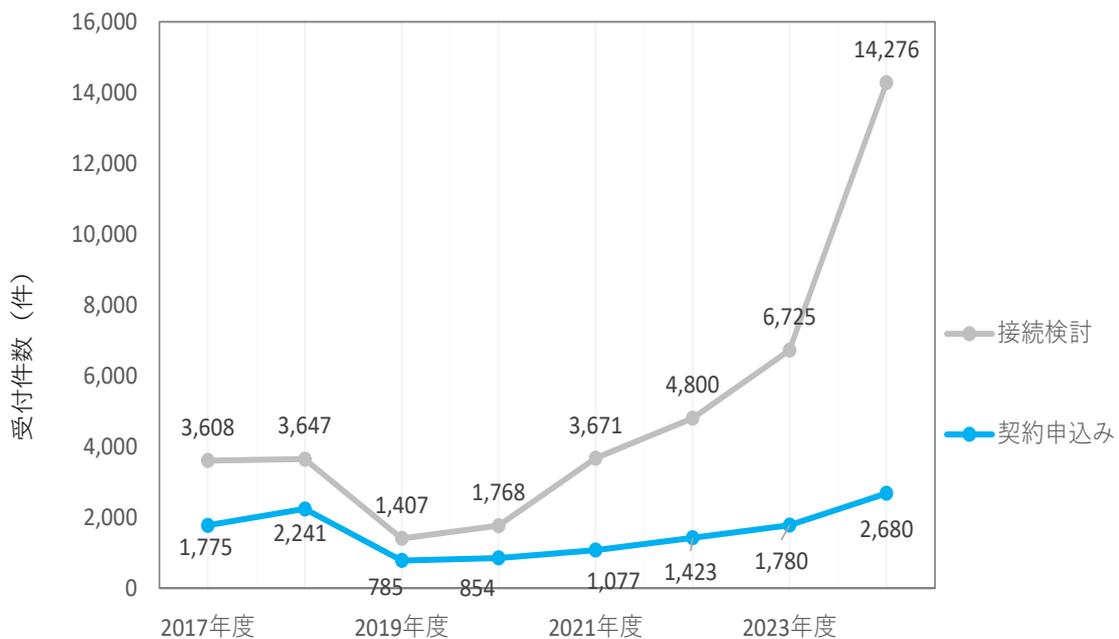


図 2 4 年度別 接続検討・契約申込みの受付件数の推移

## (1) 事前相談

表10 事前相談の各社別受付件数の推移

(件)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
広域機関	111	76	41	27	68	107	112	35
北海道NW	1,592	646	237	567	1,733	2,012	1,914	3,801
東北NW	2,529	2,853	1,502	1,181	1,910	2,510	4,693	7,447
東京PG	5,396	2,659	1,187	1,064	3,410	4,960	6,832	16,865
中部PG	4,136	4,110	1,840	1,819	2,045	3,133	2,950	5,619
北陸送配	478	622	262	214	339	457	498	602
関西送配	3,528	4,318	2,128	1,442	2,200	2,792	2,700	4,660
中国NW	2,744	2,405	1,520	895	1,500	1,573	1,485	4,840
四国送配	546	804	257	326	624	784	893	1,346
九州送配	1,796	2,003	3,484	1,790	1,969	2,251	3,722	10,778
沖縄電力	72	38	21	44	29	20	30	25
合計	22,928	20,534	12,479	9,369	15,827	20,599	25,829	56,018

## (2) 接続検討

表11 接続検討の各社別受付件数の推移

(件)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
広域機関	53	58	83	76	76	74	99	80
北海道NW	323	229	65	89	385	434	746	907
東北NW	443	615	363	424	679	504	1,113	2,809
東京PG	1,085	853	287	443	1,382	2,070	2,703	4,951
中部PG	485	585	163	230	391	659	728	1,779
北陸送配	118	115	79	55	54	77	132	248
関西送配	354	328	91	137	233	258	340	831
中国NW	315	431	91	106	206	262	301	813
四国送配	139	110	42	29	75	149	130	220
九州送配	291	315	138	173	185	307	428	1,634
沖縄電力	2	8	5	6	5	6	5	4
合計	3,608	3,647	1,407	1,768	3,671	4,800	6,725	14,276

表12 接続検討の電源種別毎の受付件数の推移

(件)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
火力	41	25	59	60	32	29	41	30
一般水力	132	145	182	241	245	172	187	138
揚水	0	0	0	0	0	4	12	3
原子力	0	0	0	0	0	0	1	0
太陽光	2,602	2,806	481	766	2,498	3,466	4,414	4,341
風力	340	303	410	326	436	237	253	215
地熱	17	14	38	55	54	26	25	10
バイオマス	469	341	221	305	327	259	167	81
蓄電池	-	-	-	-	-	594	1,599	9,544
その他	11	13	21	18	83	23	54	29
合計	3,612	3,647	1,412	1,771	3,675	4,810	6,753	14,391

## (3) 契約申込み

表13 契約申込みの各社別受付件数の推移

(件)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
北海道NW	187	46	25	25	85	92	140	142
東北NW	211	329	232	332	115	328	335	475
東京PG	277	618	174	174	413	514	698	871
中部PG	267	400	94	96	141	144	155	371
北陸送配	86	50	26	33	27	30	45	52
関西送配	256	251	57	70	112	103	144	310
中国NW	196	242	45	37	67	73	110	191
四国送配	79	69	20	15	42	46	61	68
九州送配	210	232	110	69	73	87	86	193
沖縄電力	6	4	2	3	2	6	6	7
合計	1,775	2,241	785	854	1,077	1,423	1,780	2,680

表14 契約申込みの電源種別毎の受付件数の推移

(件)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
火力	26	16	19	16	30	20	38	48
一般水力	76	96	124	135	155	116	126	122
揚水	2	0	0	0	0	2	4	7
原子力	0	1	1	0	2	1	1	1
太陽光	1,252	1,900	375	440	685	1,012	1,301	1,381
風力	229	78	113	148	55	71	68	58
地熱	5	3	11	15	15	10	6	4
バイオマス	187	143	138	95	125	144	82	62
蓄電池	-	-	-	-	-	39	150	1,016
その他	3	5	7	6	14	10	17	6
合計	1,780	2,242	788	855	1,081	1,425	1,793	2,705

※契約申込み1件に対し複数の電源種別が混在する場合、電源種別件数としては、複数の電源種別でカウントしているため、契約申込みの受付件数の合計値とは一致しない場合がある。

## <参考2> 電源接続案件一括検討プロセス実施状況

2024年度末（2025年3月末）時点における電源接続案件一括検討プロセス（主宰者：一般送配電事業者）の実施状況

※は以下のとおり。総数29件のうち、2024年度末時点で27件が完了。

※2025年3月末時点の実施状況を記載しているため、本資料公表日の実施状況とは異なる場合がある。

表15 電源接続案件一括検討プロセスの実施状況一覧

会社	件数	対象エリア	開始決定日	応募申込 受付開始日	プロセス 完了(予定)日
北海道NW	1件	弟子屈	2022/4/28	2022/7/26	2024/3/21 完了
東北NW	9件	福島	2021/3/24	2021/4/26	2023/5/1 完了
		山形・本荘由利	2021/3/26	2021/4/28	2023/5/10 完了
		青森県下北	2021/5/19	2021/6/16	2023/4/3 完了
		岩手県北部	2021/8/12	2021/10/7	2023/7/18 完了
		宮城県北西	2021/8/13	2021/10/8	2023/6/12 完了
		新潟県村上	2021/12/14	2022/1/18	2023/11/7 完了
		宮城県北東および 東部大崎	2021/12/15	2022/1/21	2024/1/11 完了
		青森県三戸	2021/12/16	2022/1/26	2023/9/12 完了
		宮城県刈田郡蔵王町	2024/10/16	2024/11/15	2026/5中旬頃
東京PG	2件	群馬東部	2021/7/13	2021/8/13	2023/8/31 完了
		栃木西部	2022/11/30	2022/12/28	2024/11/19 完了
中部PG	3件	長野県北部小谷村	2021/9/3	2021/10/1	2023/3/30 完了
		愛知県三河北部・長野県 南信南部A, B*1	2022/7/8	2022/8/8	A 2024/5/31 完了
					B 2023/3/1 完了
三重県中勢・伊賀	2022/8/30	2022/9/30	2023/4/13 完了		

北陸送配	4件	石川県白山市南部	2020/10/30	2020/11/30	2021/12/1 完了
		石川県能登	2020/11/25	2020/12/25	2022/7/4 完了
		石川県志賀町周辺	2022/9/2	2022/10/3	2023/4/3 完了
		石川県能登北部	2023/1/17	2023/2/17	2024/8/23 完了
中国NW	2件	広島県神石高原町・岡山県高梁市・吉備中央町および周辺	2021/2/5	2021/2/16	2021/10/21 完了
		山口県周南	2025/3/7	2025/3/31	2026/9下旬頃
九州送配	8件	大分県西大分	2020/11/11	2021/1/29	2022/1/21 完了
		鹿児島県霧島	2021/1/29	2021/2/26	2021/12/22 完了
		鹿児島県大口	2021/4/5	2021/5/10	2022/1/26 完了
		大分県日田①②*1	2021/7/29	2021/8/26	① 2023/6/15 完了 ② 2023/6/7 完了
		熊本県菊池	2021/8/4	2021/9/1	2022/3/24 完了
		大分県山香・柳ヶ浦	2022/4/28	2022/5/27	2023/11/21 完了
		熊本県南関	2023/3/24	2023/4/21	2023/8/9 完了
		宮崎県えびの	2023/9/15	2023/10/13	2024/12/4 完了

\*1：エリア分割によるもののため、1件とする